

■がん診療連携拠点病院（令和5年4月1日現在）

専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、一定の要件を満たした施設が、「がん診療連携拠点病院」として指定されています。（P49参照）

県内には、国が指定する12病院と、県が指定する1病院の合わせて**13病院が整備**されています。

●がん診療連携拠点病院の配置図(国指定及び県指定)



診療

専門の医師やスタッフが、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなどを総合的に実施

連携

地域の中核的な医療機関として、他の病院やかかりつけ医と連携しながら、最適ながん治療を支援

相談

患者さんやご家族の様々な悩みや相談に、専門の相談員が対応

医療施設を探す

■小児がん拠点病院・連携病院

「小児がん拠点病院」とは、地域における小児がんの医療及び支援を提供する中心施設として厚生労働大臣が指定した病院で、全国に15施設あります。

中国・四国ブロックでは唯一、**広島大学病院が指定**されており、小児がんに関する相談窓口「小児がん医療相談室」（P4参照）も開設されています。

また、拠点病院と協力して治療を行う「小児がん連携病院」として、広島赤十字・原爆病院が指定されています。

広島大学病院では、小児がん患者さんとご家族向けのサポートブックを作成しています。

医療費や日常生活に関する活用できる制度が詳しく紹介されています。

（広島大学病院のホームページからダウンロードも可能です。）



■がんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院・連携病院

●がんゲノム医療とは

がんは、正常な細胞の遺伝子に変異し、その変異した遺伝子が増殖して発症します。遺伝子の変異は、先祖から受け継ぐ遺伝子が原因となる先天的な要因や、生活習慣、喫煙等が原因となる後天的な要因により発生します。

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、**多数の遺伝子を同時に調べ**、この遺伝子の変異を明らかにすることにより、**一人ひとりの体質や病状に合わせて治療などを行う医療**です。

●がんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院・連携病院

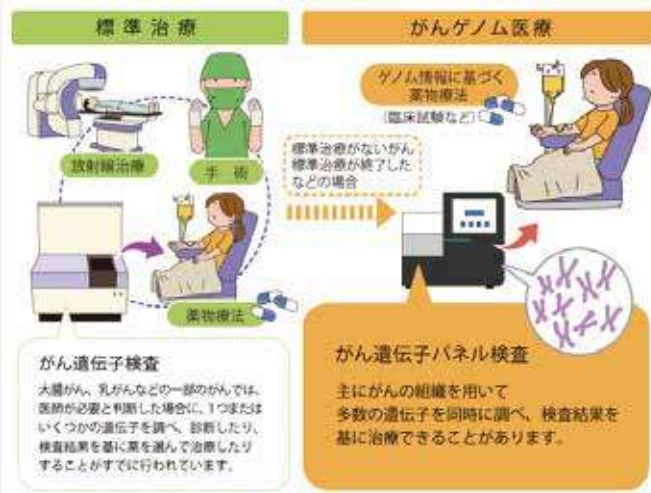
ゲノム医療を必要とするがん患者さんが、全国どこにいても、がんゲノム医療を受けられる体制を構築するため、厚生労働省は「がんゲノム医療中核拠点病院」、「がんゲノム医療拠点病院」、「がんゲノム医療連携病院」を指定・公表しています。

県内の指定病院等については、P49を参照してください。

がんゲノム医療が行われる場合

一部のがんの治療では、すでに標準治療（P16参照）として、がんの組織などを用いて1つまたはいくつかの遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」を行い、遺伝子の変化に対応した薬の選択が行われています。

一方、「がんゲノム医療」として、多数の遺伝子を同時に調べる検査である「がん遺伝子パネル検査」（がんゲノムプロファイリング検査）は、その一部が保険診療として、標準治療がないまたは終了したなどの条件を満たす場合に行われています。



国立がん研究センターがん情報サービスより

※保険診療としての「がん遺伝子パネル検査」は、「がんゲノム医療中核拠点病院」、「がんゲノム医療拠点病院」、及び「がんゲノム医療連携病院」などで実施可能です。

医療施設を探す

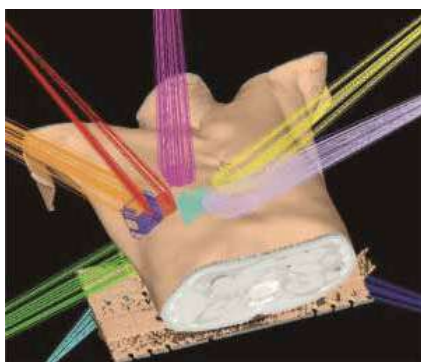
■広島がん高精度放射線治療センター

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC ハイプラック）は、リニアックと呼ばれる高精度放射線治療装置を複数設置するとともに、専門性の高い放射線治療医を複数配置して、より質の高い先端的な放射線治療を実施しています。



●高精度放射線治療とは

近年の目覚ましい技術進歩によって、体内の腫瘍位置を数ミリ単位で正確に把握し、ピンポイントで放射線治療を行うことや、放射線を複雑な腫瘍の形にぴったり合わせることが出来るようになりました。こうした放射線治療を特に、高精度放射線治療と呼びます。従来の放射線治療より、正常組織への照射線量が低くなるので、より副作用なく効果的な治療ができます。



▲高精度放射線治療のイメージ

がん相談外来（セカンドオピニオン）

広島がん高精度放射線治療センターでは、センターの医師が対面で相談に応じ、最適な治療の選択を支援する「がん相談外来」を開設しています。

「治療方法の選択に迷っている」、「現在の治療方法に不安を感じる」、「放射線治療ができるか確認したい」など、患者さんやご家族からの質問に、放射線腫瘍医がお答えします。

◆がん相談外来は、診療を受けている医療機関経路による完全予約制です。詳しくはHIPRACホームページをご覧ください。

●HIPRACで放射線治療を受けるには

- ① 現在治療している医療機関の主治医に相談
- ② 主治医がHIPRACでの治療に適しているかを判断
- ③ 各医療機関からHIPRACへ紹介



- ◆放射線治療は1日1回の治療が、小さな肺がんの場合は4～8回、転移性脳腫瘍の場合は3～10回、前立腺がんの場合は37～39回程度必要です。

●治療費

健康保険が適用されます。

- ◆高額療養費の申請対象となりますので、お手続きいただくと一定額以上の自己負担金は還付されます。

お問い合わせ先

広島がん高精度放射線治療センター
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番2号
電話番号：082-263-1330

ハイブラック

検索

交通等のご案内

- JR広島駅・新幹線口から徒歩5分。
- 地下駐車場有り（患者さんは無料）
- HIPRACは入院施設がありません。通院が難しい方には、近隣の宿泊施設を紹介しています。



医療施設を探す

■広島県がん医療ネットワーク

広島県がん医療ネットワークとは、乳がん、肺がん、肝がん、大腸がん及び胃がんの、いわゆる「5大がん」について、検診から治療後の経過観察まで、切れ目のないがん医療を提供することを目的として、専門の医療施設が参加・連携しているネットワークです。

参加施設は、一定の基準を満たしており、どこでも同じ水準の検査や治療を受けることができます。

参加施設については、広島がんネット（P8参照）で公開しており、お住いの市町や医療機能に応じて検索できます。

●「地域連携パス」と「わたしの手帳」

がん医療ネットワークでは、患者さんが退院した後も、地域で継続した治療を受けられるよう、患者さん一人ひとりの診療計画書となる「地域連携パス」の活用を進めています。

地域連携パスは、「がん治療を行った病院」と「地域のかかりつけ医」が協力して、専門的な治療と日常の診療や投薬などを役割分担しながら行うとともに、患者さんの治療経過を共有し、診察を円滑に行うために役立っています。

また、患者さんと医療者が、診断から術後にいたるまでの経過等を記録し、情報を共有することで、安心して治療を受けていただくために、がん医療ネットワークでは、術後の患者さんに「わたしの手帳」を無料でお渡ししています。

詳しくは、主治医やかかりつけ医にご確認ください。



標準治療と臨床試験(治験)

●「標準治療」とは？

標準治療とは、科学的根拠に基づき、現時点で最も効果が期待でき、安全性も確立した一番良い治療の事であり、ある状態の一般的な患者さんに行われることが推奨される治療のことです。

●「臨床試験」(治験)とは？

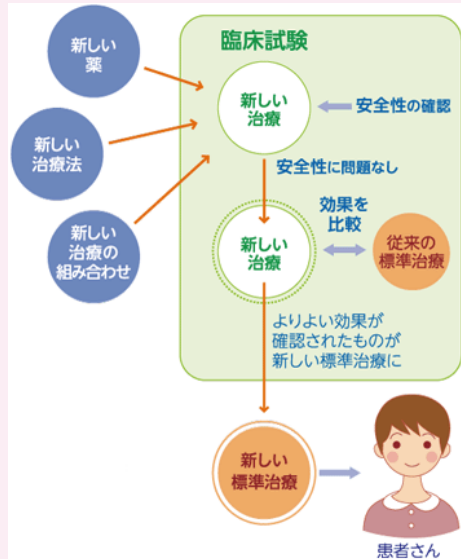
新しい薬や手術、放射線治療などを用いた新しい治療、あるいはそれらの組み合わせで行われる治療法などに対して、その効果や安全性について確認するために行われる試験のことを臨床試験といいます。

また、臨床試験の中でも特に、厚生労働省から薬・医療機器としての承認を得ることを目的として行う試験を「治験」といいます。

●標準治療と臨床試験

臨床試験は、新しい治療方法が最良なものであるかを評価する段階で行われるため、一番よい治療かどうかはその時点ではわかっていません。

そのことを十分に理解し、臨床試験への参加を希望する場合は、標準治療や他の治療について主治医に尋ねてみましょう。場合によっては、セカンドオピニオンを受けるという方法もあります。



国立がん研究センター
がん情報サービスより